

第10回

“美しき桜心の物語” の語り会

平成31年
3月30日 土

16時～17時半
(開場:15時半)



平野啓花



語り部
かたりすと
平野啓子



平野啓奈

第一部

“美しき桜心の物語”の語り会
語り部・かたりすと 平野啓子

第二部

平野啓子門華 平野啓花、平野啓奈による語り

場所

真言宗 正名山地蔵院 **大光寺・本堂**
[東京都八王子市初沢町1352]
(JR中央線・京王線・高尾駅南口下車徒歩3分)

募集人員

60名(事前申込要
先着順)

参加費

無料

申込方法

平成31年3月1日 金 9:00～受付開始

美しい多摩川フォーラム事務局宛にハガキ、FAX、メールにより、

①代表者氏名 ②参加者全員の氏名(最大5名) ③代表者住所 ④代表者電話番号を記載のうえ
お申し込みください。 ※お預かりした個人情報は本イベント以外の目的で使用することはありません。

お申込先

〒198-8722 東京都青梅市勝沼3-65 青梅信用金庫 地域貢献部内
美しい多摩川フォーラム事務局「桜の語り会」宛

FAX 0428-24-4650

メール forum@tama-river.jp



名作名文の全文を暗誦する「語り」の第一人者、語り部・かたりすと 平野啓子さん
が、「多摩川夢の桜街道」三十六番札所・大光寺にて、桜と人との不思議な縁をお届けします。
後半では、平野啓子門華2名が出演して、桜づくしの語り会を予定しております。

出演者およびプロフィール

	<p>語り部・かたりすと 平野啓子(ひらの けいこ)Keiko Hirano</p> <p>元「NHKニュースおはよう日本」キャスターやNHK大河ドラマ「毛利元就」本編語り、「琉球の風」「花の乱」等の紀行、教育テレビ「おはなしのくに」の語り、NHK芸術劇場『平野啓子の語りの世界』、テレビ朝日「古館トーキングヒストリー」のナレーション等で活躍する一方、古今の名作・名文を全文暗誦する「語り」の第一人者として、毎年各地で「語り」公演を行う。また、最近では、日本の語り文化を海外に紹介するため、文化庁の派遣等でドイツとトルコなどを訪問し、「語り」を通じて文化交流を深める。「語り」で震災復興応援や地域振興も行う。都立国立高校卒、早稲田大学卒。大阪芸術大学芸術研究所「紀要—藝術40、41」に「語り」についての平野啓子の論者が掲載される。大阪芸術大学放送学科教授、武蔵野大学文学部日本文化研究<朗読・語りと舞台演出>非常勤講師。美しい多摩川フォーラム副会長。日本ユネスコ国内委員会広報大使。</p> <p>主な受賞歴： 平成9年度ギャラクシー賞奨励賞、平成9年度文化庁芸術祭大賞、平成22年度文化庁長官表彰。平成26年度文化庁文化交流使。</p>
	<p>平野啓子門華 平野啓花(ひらの けいか)Keika Hirano</p> <p>都立立川高校、国立音楽大学卒業後CATV局に約15年勤務。番組制作、キャスター、青梅マラソン生中継リポーター、司会業等務める。学生時代からの憧れ平野啓子氏に本格的に語りの指導を受け始め門下生として活動。2017年平野啓花初のワンマンショー開催、好評を得る。「多摩の物語」(美しい多摩川フォーラム主催)、ギャラリーらいぶ、老舗蕎麦店らいぶや東京都健康プラザハイジア定期ロビー語り公演にレギュラー出演。平野氏の前座や共演を地道に積み重ね、平成30年度文化庁芸術祭参加公演に出演、「太宰治のカチカチ山」における処女の残酷な兔を演じた啓花の語りは、客席に衝撃を与え、大いに称賛された。「美しき桜心の物語」の語り会(美しい多摩川フォーラム主催)初出演。目黒学園カルチャースクール講師。</p>
	<p>平野啓子門華 平野啓奈(ひらの けいな)Keina Hirano</p> <p>大阪芸術大学芸術学部放送学科アナウンスコース卒業。大学在学中に教授平野啓子氏と出会い「語り」に魅力を感じ、平野氏の教えを受けながら数多くの文学作品を舞台やラジオで語り、ラジオは関西全域に放送された。卒業後、愛知のCATV局で、アナウンサーとして自ら取材・企画・出演の番組作りを行う。現在、宮崎県延岡市で古文を口語訳した物語の朗読や地域イベントの司会などを行うほか、「多摩の物語」(美しい多摩川フォーラム主催)や東京都健康プラザハイジアのロビーの語り公演にレギュラー出演し、平野氏の前座や共演をしている。全身から発するエネルギー溢る語り客席をも元気にし、好評を得る。今回の「美しき桜心の物語」の語り会(美しい多摩川フォーラム主催)が平野啓奈の名での初登場となる。</p>

「多摩川夢の桜街道」

桜は欧州やアジアなど各国にあります。日本のようなスタイルでお花見をするのは外国にもあまり例がありません。桜の語源には諸説ありますが、一説には、「さ」は「早苗」に由来して神様を表し、「くら」は神様が鎮座する場所を示し、桜には農耕の神様が宿っていると考えられました。そこで、古くから桜の開花で稲の苗を植える時期に見当をつけ、散り方を見ては稲の豊凶を予測し、神に酒や食べ物を持って豊作を祈願したと伝えられています。

美しい多摩川フォーラムでは、その花見のルーツにしたがい、願いごとをたずさえてめぐる巡礼のように、多摩川流域にある桜の名所を「多摩川夢の桜街道・八十八カ所」として選定し、願いごとをたずさえて桜を鑑賞する楽しみ方を提案しています。また、この取り組みでは、単に桜の名所に足を運ぶだけでなく、周辺のスポットにも立ち寄るコースを提案して、地域の皆様に多摩エリアの魅力の再発見を促し、観光面からの経済効果を狙っております。

「多摩川夢の桜街道」公式ホームページ：<http://www.sakurakaido.jp/>

お問合せ

美しい多摩川フォーラム事務局

TEL

0428-24-5632